

# 一般質問

# 町政を問う

今回10名が質問し、  
その要約を掲載しました。

河原井 大 介 議員 …………… 14

藺 部 一 議員 …………… 15

藤 咲 芙美子 議員 …………… 16

桜 井 和 子 議員 …………… 17

猿 田 正 純 議員 …………… 18

加藤木 直 議員 …………… 19

阿久津 則 男 議員 …………… 20

三 村 孝 信 議員 …………… 21

杉 山 清 議員 …………… 22

小 坏 孝 議員 …………… 23

☐次ページからの、顔写真下のQRコードをスマートフォンなどで読み込むと、一般質問時の動画が視聴できます。



🌻「町政を問う」の掲載記事は、質問者本人の寄稿によるものです。

# アツマーレについて



かわらい だいすけ 議員  
河原井 大介



こちらから  
動画が視聴できます

## 《町長》 経済効果は想定どおりではない

**河原井** 町が企業誘致した、水戸ホーリーホックの経済効果が年間約1億円としていたが効果は上がっているのか。

**町長** 当初想定した経済効果の推計約1億円は、思うように進んでいない。

**河原井** 町民センターの維持管理に、町の税金で年間3,000万円かかり、ホーリーホックからの法人住民税は16万5千円である。

ホーリーホックはスタジアムを建設するというが、状況を把握しているのか。

**町長** スタジアム建設については存じていない。

**河原井** クラブハウスや練習グラウンドをもつ町が、スタジアム建設について知らないとはどういうことか。ホーリーホ

ックの経営陣と協議の場を作り、連携していくことが必要ではないか。

**まちづくり戦略課長** 今後はホーリーホックの経営者等と、定期的な協議の場を設ける事とする。

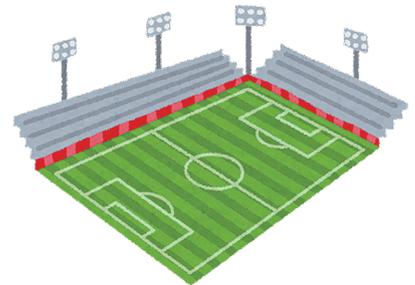
## 財政状況について

### 《町長》

### 交付税や補助金、有利な制度を活用

**河原井** 今年度の一般会計予算は、約120億円と予想され、そのうち地方交付税が約40億円入ってきている。毎年町の借金は増え、貯金は減り、町税は約20億円と横ばいである。

**町長** 町長は、交付税と共にこの町は生きていくと話していたが、その認識は変わらないのか。



## 那珂川大橋について

### 《都市建設課長》

### 地元説明会をする予定

**河原井** 進捗状況について伺う。

**都市建設課長** 今年度、地質調査、道路の詳細設計、橋梁の詳細設計を実施中。設計がまとまり次第、地元説明会をする予定である。



## 災害について

### 《総務課長》

### 助成の率を検討する

**河原井** 町消防団員が大型消防車を運転する免許の有無は地域消防団活動の課題である。

**総務課長** 助成の率は、今後検討する。

免許所得の際の、半額の補助費を全額補助にしてはどうか。



# 有害鳥獣対策について



その べ はじめ  
菌部 一 議員



こちらから  
動画が視聴できます

## 《町長》 隊員数は28名

**菌部** 過疎化で耕作放棄地が増え、イノシシやハクビシンの住みかとなり、田畑の作物が大きな被害を受けている。行政は、害獣駆除の奨励金を交付するなどして対策を講じ、年々被害は減少している。

今年から実施隊の作業内容が大きく変わったと聞かされた理由は、変わったことにより、再びイノシシが増え、被害が広がるのを町民は心配している。

**町長** 有害捕獲期間中に不適切な場所へのわなの設置や、わなに設置者の標識が非表示だった等、改善点があったためである。

**菌部** 隊員は何名か。

**町長** 隊員数は28名である。

**菌部** 捕獲実績と奨励金の額は。

**町長** 平成30年度 271頭で435万8千円、令和元年度 647頭で940万8千円、令和2年度 683頭で947万8千円。

**菌部** 町所有及び各自治会で所有する箱わなの数は。

**町長** 町所有 77



箱わな

基、自治会所有8基、その他は36基。

## 城里町立ななかいこども園の新設について

### 《町長》入園に前向きな回答61%

**菌部** ななかいこども園は築40年が経過し老朽化が著しく、園舎内部は白アリ被害を受けている。また、隣は建設業者の作業場となっており、作業の度に大きな音に悩まされていた。子どもを預かる環境を整備するため、ななかいこども園施設整備検討委員会が発足し、委員会の答申は規模を入園数に合わせ縮小して新築するのが適正と決定した。

**町長** 町は、新園整備に関するアンケートを実施したが結果はどうか。

**町長** 教育、保育が充実するよう利用者等の意見を反映した施設整備となるため、こども園に通園していない児童世帯と七会地区の世帯648世帯にアンケートを行い、242世帯から回答を得た。新園整備された場合、入園に前向きな回答は61%。



町立ななかいこども園

## 新型コロナウイルスワクチン接種について

### 《町長》

### 接種対象人口の85%が1回目終える

**菌部** 高齢者、基礎疾患のある方への進捗状況は。

**町長** 9月12日時点で接種対象人口の85%が1回目を終えており、10月上旬には2回目接種が終わる。

**菌部** 高齢者、基礎疾患のある方への進捗状況は。

**町長** 中学生は82%が1回目接種を終える。高校生は7割が接種している。小学生は20名の6年生が接種している。

# おくやみ専用窓口の一本化を



ふじまき ふみこ 議員  
藤咲 芙美子



こちらから  
動画が視聴できます

## 《町長》 近隣自治体の取り組みの把握に努める

**藤咲** おくやみの手続きは、残された家族が役場に行くことになる。生活全般の名義変更等で、不安を抱えながら各課を5、6力所回りその都度身内の死を伝えなければならぬ。手続きは、1回で終わらず数回足を運ばなくてはならず、精神的負担、疲労が生じる。

このような負担を解消するため、おくやみ窓口の一本化を求める。

**町長** 手続きを1箇所ですませることができるとは理想的であり、今後先進地に職員を視察に行かせるなど、近隣自治体の取り組みの把握に努める。



## 桂支所・七会町民センターの機能再建について

### 《町長》 業務内容を議論していく

**藤咲** 地域住民の暮らしに必要な各種業務を、身近な場所で丁寧に行うことができるのが支所機能であり、町民と町政を結ぶ重要な行政機関だ。

支所は、後期高齢者医療の受付や交付、介護保険の相談、国保の資格、各種届け出等の業務を削減したまま。住民や職員の声を聞いているか。調査など行っているか。

**町長** 出先でもできるような戻した業務もある。年1回全ての職員と面談を行い、様々なことをヒアリングしている。

## 桂支所仮庁舎について

### 《町長》

### 桂支所を公民館に移転するか検討

**藤咲** 桂支所の看板が、震災から10年以上も過ぎていのに、いまだに仮庁舎のまま。いつまでこのままにしているのか。

**町長** 支所を公民館に移転し、桂町民センターとするか、今後みなさんの意見を聞き検討する。



桂支所仮庁舎

## 公文書の取り扱いについて

### 《町長》 規程で運用していきたい

**藤咲** 公務員が職務上作成した文書は、私的な文書ではなく町の遂行する上での文書であり、基本的に町民のものだと考える。公文書管理は健全な民主主義の根幹を支える。国民共有の知的財産と言われる。

**町長** 他市町村も規程であり条例化していない。当町においても規程で運用していきたい。



さくらい かずこ 議員  
桜井 和子

# ランドセルの無償配布について



こちらから  
動画が視聴できます

## 《町長》 教育委員会の議論を見守る

**桜井** 令和元年度にランドセル無償配布について調査を行ったが、アンケートの対象者は誰か。

**教育長** 当時の一年生の保護者を対象に実施した。

**桜井** どのような内容だったのか。

**教育長** ランドセルの購入者、購入金額、色、無償配布についての考え方を調査した。

**桜井** 何のために行ったのか。

**教育長** 家庭におけるランドセル購入の実態や意向を把握し今後の資料とするために行った。

**桜井** 無償配布について84%の賛成がありながら、実施できない理由は何か。

**教育長** 経済的負担軽減が良いのか、小学生全員に同一のランドセルを使用させ



ることが良いのか検討している。

**桜井** アンケートに答えた保護者は「賛成が多ければ2、3年後には無償配布になるね」と皆さん喜んでいただいている。保護者の皆さんの期待に応えられないという事は、町に対する信頼を損なう事になるのではないか。

**町長** 県内で14の自治体が無償配布を実施しているが、逆を言うと30の自治体は実施していない。教育委員会の議論を見守って、予算編成時に上がってきた案に対し、私が判断していく。

## 高齢者対策

### 《町長》

### 《桜井》 民間のサービスに頼っている

**桜井** 高齢者や一人暮らしの方から、食料品や生活必需品など、買い物への不安の声が届いている。町としてどのように考えているか。

**町長** 民間のサービスに頼っている現状である。

### 《桜井》 買物弱者を応援するために、移動販売を始めた市町村が増えている。本町でも移動販売の対策に取り組むべきではないか。

**町長** 農協で移動販売の計画があると聞いている。町としても応援していきたい。



## 子どもの弱視予防について

### 《町長》

### 《桜井》 フォトスクリーナーの購入を検討していく

**桜井** 弱視は子供の50人に一人はいるとされている。弱視や斜視などの早期発見に効果のある、フォトスクリーナーという機器を用いた屈折検査を、3歳児検診に導入すべきではないか。

**町長** 令和4年にフォトスクリーナー購入の補助制度ができるときいている。購入を前向きに検討していく。



# 豚熱(CSF)について



猿田 正純 議員



こちらから動画が視聴できます

## 《農業政策課長》 県主体の対策本部を設置

**猿田** 町内で豚熱感染のイノシシが捕獲された。有害鳥獣駆除をしているが、豚熱の検査はどのような方法か。

**農業政策課長** 捕獲イノシシの血液を採取し、家畜保健衛生所にて確認検査を行い、陽性確認時は県畜産課から畜産農家と市町村宛に確認指導の状況報告がある。

**猿田** 養豚農家に飛び火した場合の対応は。

**農業政策課長** 令和3年2月に発生した鳥インフルエンザと同様、県主体の対策本部を設置、防疫作業が展開される。

**猿田** 鳥インフルエンザを含め、コロナ、台風、水害、地震等々の危機管理体制のための基本対応策の構築が必要である。



## 開発行為について

《都市建設課長》  
建設場所や建物構造で、一定の規制がある

**猿田** 災害リスクの高い場所への住宅建設について規制をかけるべきだが。

**都市建設課長** 災害発生リスクの高い場所への規制も、都市計画区域内は確認申請が必要となり、それ以外の区域も、建物の用途や面積等でも申請が必要となる場合もある。また、土砂災害特別警戒区域内も確認申請が必要であることから、一定の規制がある。



**町長** 精査し、今後の課題としたい。

## 入札について

《町長》  
入札方法は今後の検討課題

**猿田** 令和3年度現在まで5ヶ月間入札の不調、中止の件数は。

**財務課長補佐** 入札実施総数144件中、不調が15件で、中止が2件。

**猿田** 県は意向確認型指名競争入札を

**町長** 入札方法については、今後の検討課題とする。

**猿田** 廃止し一般競争入札に戻した。厳しい基準にする程、競争入札の意味が薄れる。公平性が担保できる入札方法にすべきではないのか。

## 情報公開について

《町長》  
印影は個人情報にあたる

**猿田** 町長は情報開示の際に、公文書の職員の押印をプライバシーの問題があると黒塗りしているが、その判断は、どの法や条例を元に解釈されたのか。

**町長** 印影は個人情報に当たり、他では黒塗りの事例も見受けられる。

**猿田** 近隣の市、町は「判例六法」「情報公開の実務」書から、押印はプライバシーの問題に当たらないと判断し、オープンにしている。よって、町長にも改善すべきだ。

# 新型コロナウイルスについて



かとうぎ ただし 議員  
加藤木 直



こちらから  
動画が視聴できます

## 《健康保険課長》 9月下旬までに2回目の接種が完了

**加藤木** 新型コロナウイルスが、日本で確認されてから1年8ヶ月になる。ワクチン接種の進捗状況と、今後の見通しを伺う。

**健康保険課長** 接種希望者の大半は、9月下旬までに2回の接種が完了する。10月以降は、接種もれ者を中心に進める。

**加藤木** 生活困窮者支援には、緊急小口資金、総合支援資金がある。貸し付け状況を伺う。

**福祉こども課長** 緊急小口資金は89件、1,640万円で、総合支援資金は146件、7,853万円となっている。

**加藤木** 罹患者が様々な相談をするのは、どこにすればいいのか。

**健康保険課長** 基本的には保健所が対応

するが、町に相談があった場合は、保健師が対応する。

**加藤木** 町ホームページにコロナ発生状況が一目で分かるようにして頂きたい。

**健康保険課長** 他市町村のホームページを参考に、検討する。

## アツマーレの管理について

### 《まちづくり戦略課長》 真摯に受け止め検討

**加藤木** アツマーレのグラウンド管理を、ノウハウのない開発公社に指定管理をしているが、町が管理し直接契約すべきではないのか。

**町長** グラウンド以外の管理もお願いしている。議会の賛成多数で、5年間の指定管理が議決された経緯がある。



**加藤木** ホーリーホックからの使用料800万円は、公社の歳入となっているが、町の歳入に入れるべきだ。

**まちづくり戦略課長** 決算特別委員会でも指摘された。債務負担行為や基本協定書の変更などの事務手続きもあるため、真摯に受け止め検討する。

## 地域振興券について

### 《まちづくり戦略課長》 消費喚起は相当な額

**加藤木** 地域振興券の事業効果の確認はしているのか。また、特定事業者への利益誘導はないか。

**まちづくり戦略課長** 消費喚起は相当な額であり、効果ありとの報告をうけている。特定事業者への利益誘導については、大型店舗、中小店舗、極端な隔たりはないと認識している。

**議決事項について**

### 《総務課長》 認識が欠けていた

**加藤木** 今回事故の和解事務を怠り、20数件の追認案件が提出されたが、再発防止策、事故発生時の議会報告について伺う。

**総務課長** 関係法令の認識が欠けていた。関係部署間の相互チェックが必要だ。議会へは、速やかに報告をしたい。



**加藤木** 事業効果はもっと確認すべきだ。また、町民一律のバラマキではなく、生活困窮者やひとり親世帯などへの手厚い事業を考えていくべきだ。

# 砂防堰堤(ダム)について



あくつ のりお 議員  
阿久津 則男

《町長》 地元要望を、営林署・国に提出したい



こちらから動画が視聴できます



アーバンガード工法

**阿久津** 町内には砂防ダムは何か所あるのか。また、点検は行っているのか。

**町長** 22か所あり

点検を実施した結果、緊急対応が必要な箇所はない。

**阿久津** アーバンガード工法で土砂・流

木を防ぐ方法を要望できないか。

**町長** 地元からの要望を伺い、営林

署・国に提出したい。

**阿久津** 災害対策として、ふとんかごを

並べて対応できないか。

**町長** 区長要望等

があれば設置する。

## 山林整備について

《町長》

森林環境譲与税を財源に里山整備を行う

**阿久津** 森林管理制

度を活用するとのことだが、どのように進めるのか。また、町内で対象になる面積は。

**町長** 森林環境譲

与税を利用し間伐・人材育成・普及啓発等の森林整備等に充てる。対象面積は

5,843 ha。

**阿久津** 里山再生の考えは。

**町長** 森林環境譲

与税を財源とした里山整備を行う。

**阿久津** 地主が山林

の管理を町に委託する場合、委託料は払うのか。

**農業政策課長** 委託

料は発生しない。

## 町の花、山ゆりについて

《町長》

公共施設の敷地で管理する方法を検討

**阿久津** 町内の山ゆ

りがかなり減少しているが、保護する考えは。

**町長** 山ゆりの減少はイノシシ等が原因と考える。町の花

であり、保護ができればと考えている。ホロルの湯・キャンプ場・公園など公共施設の敷地で管理する方法で対策したい。

**阿久津** どのような方法で考えているのか。

**町長** 合併以来、林道の整備は手薄になっており、一か所もやっていない。しかし、職員を増やすのは難しい。

**町長** 合併以来、

林道の整備は手薄になっており、一か所もやっていない。しかし、職員を増やすのは難しい。

**町長** 合併以来、

林道の整備は手薄になっており、一か所もやっていない。しかし、職員を増やすのは難しい。

**町長** 合併以来、

林道の整備は手薄になっており、一か所もやっていない。しかし、職員を増やすのは難しい。

**町長** 合併以来、



町の花 山ゆり



みむら たかのぶ  
三村 孝信 議員

# 変異ウイルス「デルタ」株のまん延で感染拡大に歯止めがかからない状況だが小・中学校での対応は



こちらから  
動画が視聴できます

## 《教育長》 中学生のワクチン接種は82%が終了

**三村** 小・中学校における感染対策は。

**教育長** 発熱、かぜ

のような症状がある場合は、登校を控え、各教室に空気清浄機を設置した。教職員の9割以上が2回のワクチン接種を終了し、中学生も82%が終了している。

**三村** 感染者がでた場合の対応は。

**教育長** 保健所の指示により自宅療養、療養施設、入院等の措置が取られる。

**三村** 自宅療養の場合は、親も20日程度仕事を休む必要にせまられる。パート等非正規社員にとつては、死活問題だ。対策を町に望む。

**三村** 次に各学校に配布される「抗原検査キット」の使い方は。

**教育委員会事務局長** 小中

学校に60個のキットが配布される。原則、教職員の体調不良時に使用する。生徒に関しては、4年生以上について保護者の同意の上、使用することもある。

**三村** この検査は誰がするのか。

**教育委員会事務局長** 研修を受けた教職員が立ち会い、本人が検査をする。

**三村** この検査で陽性になった場合は。

**教育委員会事務局長** 医療

機関を受診し、PCR検査を受ける。



## オンライン授業について

### 《教育長》

9月1日に全生徒にタブレットを配った

**三村** 本町のこれまでの取り組みは。

**教育長** 端末のフィ

ルタリング設定、アプリの利用契約、保険加入等を本年6月までに完了した。6月から7月は、講師を招いての教職員の研修を実施した。9月1日に全生徒にタブレットを配った。今後は、A Iドリルの導入を検討したい。

**三村** リモート授業で学力を伸ばすためには、家庭における通信環境が大事だと思うが、状況を把握しているか。

**町長** ルーターの貸し出しなど、適切に対応したい。

**三村** オンライン授業の充実には、教師の研修にスキルアップが必要では。

**教育長** ICT指導

員を1名導入し、各学校を訪問指導している。



### その他の質問

・行政の施工業者への指導について

# 町の財政状況について



すぎやま きよし  
杉山 清 議員

## 《町長》 健全性を維持していると認識している



こちらから動画が視聴できます

**杉山** 町の将来が不安、今の町政運営では5年で危機的な財政状況にとの意見もあるが、交付金、基金、公債費の相違を含め町長の所見は。

**町長** 交付税は横ばいしないし増加に転じている。町の政策、努力によって増減する。基金総額は10年ぐらい横ばい、大きく増減せず進んでいる。公債費については、実質公債費率が国の健全化基準をはるかに下回る水準で推移している。  
**杉山** 今後の将来負担比率はどのようになっているか。  
**町長** 将来負担比率は今年より下がっていく見通しである。

## 国道123号バイパスについて

### 《町長》県と協力体制を図っていく

**杉山** 石塚那珂西、粟上坪間の進捗状況について伺う。

**町長** 石塚那珂西間4.3キロ区間は、県への早期事業化を要望し、粟上坪間1.3キロは用地買収に着手しており、県と協力体制を図っていく。

## 避難所開設について

### 《町長》

### 旧坪小学校は避難所に指定されている

**杉山** 坪地区は、一昨年の台風19号では避難困難区域であった。そこで、旧坪小学校に避難所を開設してはどうか。

## 水害対策について

### 《町長》継続して整備を行う

**杉山** 新道川工事状況について、桂川、江川洪水対策を含め進捗を伺う。

**町長** 新道川の上流下流部も必要な箇所があれば、今後も継続して整備を行っていききたい。

**杉山** 根固屋橋改修については、再三再四質問してきた。令和3年度から5年間延長となった、緊急自然災害防止対策事業債を利用し早急な対応を。

**町長** 根固屋橋の改修は、緊急自然災害防止対策事業債の活用により、実現するよう要望活動をさらに行っていく。

**杉山** 千代橋上流左岸の無堤防部分の対策事業について、進捗状況を伺う。

**町長** 国は那珂川緊急治水対策プロジェクトを策定し、無堤防300メートルに越水防止対策として堤防を整備する計画である。



根固屋橋 (上坪)



千代橋上流左岸



こあくつ 小 孝 議員

# 公共事業の残土について



こちらから  
動画が視聴できます

## 《町民課長》 再度調査したい

**小 環** 環境センター建設工事で発生した残土は、どう処分したのか。

**町民課長** 水戸市白梅町と河和田町に処分した。

**小 環** 処分先の2箇所の現地を調査してきたが、環境センターで発生したと思われる赤土は確認できなかった。

処分先の場所には病院が建設されており、処分時期と病院の工事期間に相違があるが。

**町民課長** 残土処分の処理追跡において、監督員の立会いや管理写真がないのは事実であり、再度調査したい。

**小 環** 町内の業者は公共事業の残土処分を、町の厳しい管理の下行っている。今回の残土は、建設業者に売れるような

良い土であり、その土を適正に処分したことの確認が出来ない。

## 土砂災害について

### 《都市建設課長》

#### 県に対し働き掛けたい

**小 環** 国道123号、那珂西法幢院坂のがけの工事は、急傾斜地崩壊事業対策で対応できないか。

**都市建設課長** その事業は、国県事業なので、県に対し働き掛けたい。

ければ、費用の一部返還も考えて頂きたい。

**小 環** 避難路や階段の設置はどうか。

**町長** 地元の意見、担当課とも調整しながら検討したい。

## 総計予算主義の原則について

### 《財務課長補佐》

#### 一会計年度の収入と支出は全て予算に計上する

**小 環** 総計予算主義について説明を求め。

**財務課長補佐** 一会計年度における収入支出は、すべて予算に計上しなければならぬという大原則である。

## 合併特例債について

### 《財務課長補佐》

#### 事業費の95%まで充当可能

**小 環** 合併15年が経過したが、合併特例債について教えて欲しい。

**財務課長補佐** 事業費の95%まで充当可能で、返済する元利償還金の7割が普通交付税により措置される有利なものである。

**小 環** 合併後10年間は48億円の地方交付金が増えていたが、その後は約40億円しか来ていない。町長

就任時、8億円だった合併特例債による借入が現在約65億円にもなっているのに地方交付金は40億円のままである。合併特例債は交付金の算定の計算式に入れることは出来るが、実際は交付金として戻って来ていない。

笠間市のように、自信をもって合併特例債事業の実績をホームページに掲載すべきである。



アツマレ